

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	財務会計論Ⅰ	
科目基礎情報							
科目番号	0109			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	大原簿記学校監修「日商簿記検定 2 級商業簿記テキスト」大原出版						
担当教員	長谷川 博						
到達目標							
1.現金預金，債権債務，有価証券，固定資産等，各個別論点について，十分に理解し，正しく会計処理ができる。 2.収益と費用，為替換算会計について，十分に理解し，正しく会計処理ができる。 3.株式会社の意義と資本，事業譲受，株式会社の税金について，十分に理解し，正しく会計処理ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現金預金，債権債務，有価証券，固定資産等，各個別論点について，十分に理解し，正しく会計処理ができる。			現金預金，債権債務，有価証券，固定資産等，各個別論点について理解し，正しく会計処理ができる。		現金預金，債権債務，有価証券，固定資産等，各個別論点についての理解が不十分で，正しく会計処理ができない。	
評価項目2	収益と費用，為替換算会計について，十分に理解し，正しく会計処理ができる。			収益と費用，為替換算会計について理解し，正しく会計処理ができる。		収益と費用，為替換算会計についての理解が不十分で，正しく会計処理ができない。	
評価項目3	株式会社の意義と資本，事業譲受，株式会社の税金について，十分に理解し，正しく会計処理ができる。			株式会社の意義と資本，事業譲受，株式会社の税金について理解し，正しく会計処理ができる。		株式会社の意義と資本，事業譲受，株式会社の税金についての理解が不十分で，正しく会計処理ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	ビジネス界で評価の高い日商簿記検定 2 級を取得できることを目標に，そのうちの商業簿記の範囲を網羅する。財務会計は，企業の多様な経営活動を貨幣金額で捉え，企業をとりまく利害関係者に報告することを目的としている。 。本講義では，経営活動がどのように営まれるかをふまえながら，企業の経営活動がどのように記録，報告されるかを学習するために，生きた簿記の技術を身につけることを目標とする。						
授業の進め方・方法	当科目履修と並行して工業会計論を修得し，日商簿記検定 2 級を取得することを推奨する。昨年度までと同様に，2 級合格に対応できるレベルで講義を進めるため，目標点は決まっているので，進度を極端に遅くするわけにはいかない。授業の進度に極力ついてくるように予習復習を行うこと。 昨年度の検定結果が良好だったこともあって，全体として達成感があつたように感じられる。授業進度は範囲の網羅を優先し，2 級検定受験の際には，時間外に対策を行うことを想定している。						
注意点	2 級ではボリュームが大幅に増え，かなりハードになる。選択学生は，簿記の上位級を身につけることの有利さを理解し，相応の覚悟と目的意識を持って臨んでもらいたい。必要なのは，計画的に学習する意欲とそれを継続する医師なのである。 評価が60点に満たないものは，願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果，単位の修得が認められた者にあつては，その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は，本試験と同じとする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 簿記一巡の手続き		日々の手続きと決算手続き，および財務諸表についての理解を確認する。		
		2週	現金預金		現金および預金，銀行勘定調整表について，理解し正しく処理ができる。		
		3週	債権債務		債権債務，クレジット売掛金，営業外手形，電子記録債権債務について，理解し正しく仕訳ができる。		
		4週	棚卸資産		商品の評価および割引と割戻について，ならびに売上原価対立法について理解し，正しく仕訳ができる。		
		5週	固定資産		定率法，200%定率法，生産高比例法による減価償却ができる。		
		6週	固定資産		無形固定資産，ソフトウェア，投資その他の資産について正しく処理ができる。		
		7週	債務保証		債務保証の会計処理が正しくできる。		
		8週	中間試験		中間試験		
	2ndQ	9週	引当金		引当金の会計処理が正しくできる。		
		10週	収益と費用		収益と費用の区分について理解し，役務収益と役務原価の会計処理を正しく行うことができる。		
		11週	為替換算会計		外貨建取引と為替予約について理解し，正しく処理ができる。		
		12週	株式会社の純資産		株式会社の意義と資本について理解し，株式の発行，剰余金の配当等，株主資本の計数の変動について，正しく処理ができる。		
		13週	企業結合		事業譲受と合併について理解し，他正しく処理ができる。		
		14週	税金		消費税と法人税等について理解し，正しく処理ができる。		
		15週	期末試験		期末試験		
		16週	期末試験の解答		試験返却		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100	
基礎的能力	40	0	0	0	0	15	55	
専門的能力	30	0	0	0	0	15	45	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	